

気候変動関連データのアセンブリチェーン

	気候予測・観測データ 	事業関連データ 	経済影響予測データ 	経営活用・データ 
具体例「保有先」	<u>気温、降水量、河川の氾濫に伴う浸水、気候変動影響予測（農林水産業、健康等）等</u> [気候予測データセット2022（DIAS）、A-PLAT、洪水ハザードマップ、気候変動影響評価報告書]	<u>農作物生産量・漁獲量、原産地、工場・倉庫・作業現場の立地、輸送経路</u> [気候変動影響評価報告書、気候変動影響予測・適応評価の総合的研究、業界団体、個社内、企業開示]	<u>農作物生産量・漁獲量の変化による売上の増減、水害による設備被害額・営業停止被害額</u> [個社内、企業開示（TCFD等）、業界団体]	<u>設備投資計画、新技術の研究開発・導入、防災投資、適用策の導入効果</u> [企業開示（TCFD、経営方針等）、適応策事例（A-PLAT）]
	データの留意点、概要文、補足情報等について、 <u>データユーザーのニーズを踏まえデータ一覧を充実化</u> <u>データ・利活用方法に関して分野ごとに議論を実施</u>	気候予測・観測データ等と組み合わせて <u>有効な分析ができるデータの有無、所在、またその分析方法について具体化が必要</u> 産地や取引先・物流など、分析の <u>前提となるデータの整備</u> データを組み合わせた <u>具体例の共有</u> や、特定の地域・産業に関連する <u>企業・業界団体との対話、課題の把握</u> など		<u>分析結果の解釈、広範な部署の巻き込み</u> には相応のリソースが伴い有用性への理解が必要 <u>適応・リスク低減・機会創出の実例の共有・浸透</u> が必要

今後の議論のあり方について

気候変動関連データの活用と適応に関する実践パネル

企業・金融機関及び関係省庁等が、気候変動に係る適応、リスク低減、機会創出等に向け、気候変動関連データを的確・有効に利活用することができるよう、パネル形式でデータ活用を含む関係者の取組事例や課題等を共有しつつ、協働の可能性等を実践的に議論

気候変動リスク産官学連携ネットワーク

施策の進捗状況を定期的に確認しつつ、これを基に幅広い関係者を交えたシンポジウムを通して情報共有・議論